



## J-180 Jumbo Line

~The Perfect Balance~



当時、“姿形がひと回り小さいJ-200”や“コンパクトなギターを求めるアーティストの選択”と表現されていた1950年代のオリジナル・ボディを元にデザインされたのが、J-180ジャンボ・ラインナップです。そのデザインはJ-185として初めて登場しましたが、後にそのボディ・シェイプを引き継いだJ-180モデルによってその名を広めることになりました。

この新しいギブソン・ジャンボは、1962年に発売されたエヴァリー・ブラザーズ・モデル(別名J-180)によって、ステージ・パフォーマンスに打ってつけのアコースティック・ギターであるということ世に知らしめることになりました。マザー・オブ・ハールによる星型のポジション・マーク、そしてデュアル・ピックガードにより、このギターを他と見間違えることは決してないはず。

J-180やJ-185はその低音域、中音域、そして高音域のバランスに定評があり、数多くのアーティスト達により絶賛されています。そして、リズム・ギターやスタジオ・レコーディングに理想的な美しいトーン・バランスとハイ・プレイアビリティを実現してくれます。

現在、J-180ジャンボ・ライン・シリーズは世界でも優れたステージ、スタジオ・アコースティックとして知られています。このシリーズにはもちろん、高品質で優れたサウンドを実現したJ-180ECやJ-185EC Cutawaysのエレキ・アコースティックも含まれています。



## Heir to the Throne

J-185は、“キング・オブ・フラットトップス”と称されたSJ-200のボディをひと回り小さくし、シンプルにアレンジして1951年に発売された。一躍有名になったエヴァリー・モデルに比べ、前身であるJ-185の人気はさほど上がりず、輝かしい名声を誇る多くのギブソン・アコースティックの陰で静かにその姿を消した。

しかし、近年、耳の肥えたミュージシャン達はこのモデルが備える、優れたトーン・バランスに着目し始めた。J-180ジャンボ・アコースティックが多面で活躍する理由はこのサウンド・バランスのすばらしさにあるのである。優美なエレキ・アコースティック・サウンドを生み出すと同時に、真正正銘のギブソン・アコースティックの豊かなサウンドでアンブリッグド・ライブをこなすことだって出来るのである。

ヴィンテージ市場で見られるJ-185は、アンティーク・ナチュラルもしくはヴィンテージ・サンバースト・フィニッシュが一般的である。トップ・ベリー・ブリッジの両脇に入れられたマルチーズ・クロス・インレイはこのモデルのみの特徴である。

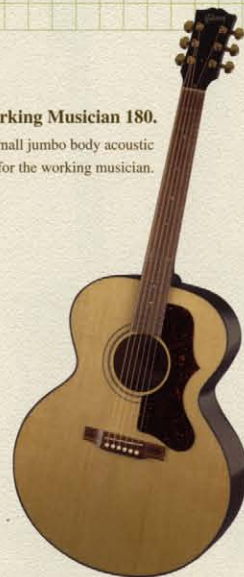
The Gibson J-185.



J-180 Jumbo Line  
~The Perfect Balance~

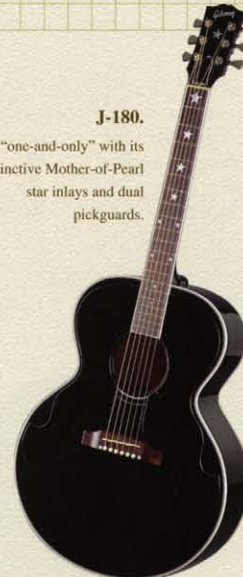
### Working Musician 180.

Small jumbo body acoustic for the working musician.



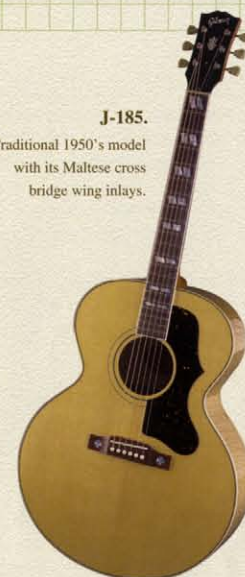
### J-180.

The “one-and-only” with its distinctive Mother-of-Pearl star inlays and dual pickguards.



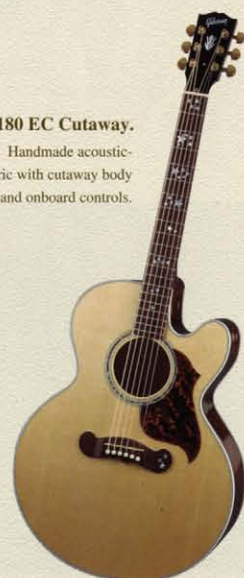
### J-185.

Traditional 1950's model with its Maltese cross bridge wing inlays.



### J-180 EC Cutaway.

Handmade acoustic-electric with cutaway body and onboard controls.



### J-185 EC Cutaway.

The world's most premium acoustic-electric with onboard controls. Made with hand-selected woods.



### J-190 Super Fusion

Designed for players needing both acoustic and electric capabilities, this model features both an under the saddle transducer pickup and an electric single coil pickup. The perfect guitar for the whole gig!

